

「地方自治と子ども施策」
全国自治体シンポジウム2015
事業報告

「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2015
実行委員会事務局 西東京市子育て支援部子育て支援課

「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム 2015 西東京事業報告書

1 開催概要

全体テーマ：連携と協働による子ども支援・子育て支援 ー子どもにやさしいまちづくりー

■趣旨

子どもの格差・貧困、虐待・いじめ・不登校、インターネット依存の問題など子どもの育ちや子育てをめぐる状況は依然厳しいものがあります。それらに対応すべくさまざまな立法・計画・施策等がなされていますが、状況を変えるまでに至っていません。

「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムは、子ども施策のあり方やまちづくりの展望を見出すために、自治体関係者と研究者・専門家・NPO等が連携・協力して2002年から毎年開催しています。このシンポジウムは、子ども施策についての情報・意見交換や研修をする機会であり、さらに創意工夫ある取り組み、「子どもにやさしいまち」づくりを推進している自治体をネットワークしていく場になっています。

今年のシンポジウムは、2001年に2市が合併して以来15年2つの自治体がつより良い面を残しつつ「子どもにやさしいまち」を市民社会や関係機関と連携・協働して総合的に推進している西東京市で開催します。全体テーマは、「連携と協働による子ども支援・子育て支援ー子どもにやさしいまちづくりー」です。

子どものいのちや暮らしが危機にさらされているなかで、総合的・継続的・重層的な子ども支援・子育て支援を推進し、「子どもにやさしいまち」づくりを展開していくためには、行政の関係部署の間で、また行政・関係機関・市民/NPO等の間で、さらに市民/NPOの間で連携・協働が不可欠です。急増する保育希望と少子化のなかで「消滅可能性」自治体の登場、子どもの格差・貧困、虐待への市民や関係機関の連携・協働の取り組み、災害が頻発する現代社会での子ども支援や若者支援などについて総合的に検討していきます。

このシンポジウムに参加して、「連携と協働による子ども支援・子育て支援ー子どもにやさしいまちづくり」についてともに考え、子ども施策・取り組みを推進していきましょう。

■日時 2015（平成27）年10月10日（土）～11日（日）

■会場 西東京市民会館
西東京市田無町四丁目15番11号

■主催 「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2015実行委員会 西東京市

■後援 総務省、厚生労働省、文部科学省、法務省
全国知事会、全国市長会、全国町村会、公益財団法人人権教育啓発推進センター
東京都、特別区長会、東京都市長会、東京都町村会、西東京市教育委員会

■日 程【1日目 10月10日（土）】

13:00～13:30	オープニングセレモニー	
	歓迎セレモニー	田無学童クラブ、芝久保学童クラブ児童によるけん玉披露
	実行委員会 開会あいさつ	森田 明美 委員長
	開催自治体 歓迎あいさつ	丸山 浩一 西東京市長
13:30～18:00	全体会（13:30～18:00）	
	シンポジウム	宮西 義憲（芽室町長） 亀井 利克（名張市長） 田中 逸郎（豊中市副市長） 池澤 隆史（西東京市副市長）
	歓迎セレモニー	田無小学校5年生、西東京しゃきしゃき体操推進リーダーによる体操披露
	特別講演	ヤン・ファン・ヒルス （ヨーロッパ子どもにやさしいまちネット ワーク代表、国際子どもの遊び評議会会長）
18:30～20:00	交流会	

【2日目 10月11日（日）】

9:30～16:00	分科会	
	① 子どもの相談・救済	半田 勝久 福田 みのり 大村 恵
	② 子どもの虐待防止	野村 武司 川松 亮 中板 育美
	③ 子どもの居場所	浜田 進士 西野 博之 内田 宏明
	④ 子ども参加	住友 剛 林 大介 喜多 明人
	⑤ 子ども計画	加藤 悦雄 清水 冬樹 森田 明美
	⑥ 子ども条例	松倉 聡史 吉永 省三 吉岡 直子
	⑦ 子ども支援・子育て支援と連携・協働	荒牧 重人 内田 塔子 金谷 正夫
12:00～13:20	ラウンドテーブル	安部 芳絵
16:15～17:15	公開コーディネーター会議	

■若者たちの防災会議

開催日時	開催場所	内 容
10月11日（日） 13:00～16:00	田無児童館	東日本大震災で被災し復興を考える若者や被災地支援をしている大学生から話を聞き、子どもたち自ら災害にあったら何ができるか考える。

■展示コーナー

会場内に子ども施策や子ども支援に関わる取り組み・活動がわかるポスター・パネル・資料の展示コーナー・ブースが設けられ、以下のような資料等の展示を行いました。

- ・西東京市、参加自治体：市民・行政による子ども支援に関わる資料
- ・子どもの権利条約総合研究所：自治体における子ども施策・子どもの権利広報
- ・東日本大震災子ども支援ネットワーク：被災地での大学生たちの復興支援活動
- ・東洋大学人間科学総合研究所：被災地における子どもと子育て家庭の居場所づくりに関する取り組み
- ・東洋大学福祉社会開発研究センター：東日本大震災による被害を受けた子どもと家庭に対する支援のあり方に関する研究

2 開催結果

○事前申込者数403名（実行委員、コーディネーター、報告者を含む）

○参加者 524名（延べ745名）（実行委員、コーディネーター、報告者を含む）

内訳（1都1道2府22県119市区町村から参加のうち5都道府県、66市区町村の自治体職員が参加）

東京都外 246名

東京都内 278名（西東京市内 133名、市外 145名）

※開催業務等従事者52名（延べ68名）、ラウンドテーブルコーディネーター（1名）を含む

種別	人数	備考
実行委員	11	※コーディネーター、報告者を兼ねるものを含む
コーディネーター	15	※報告者を兼ねるものを含む
報告者	42	
行政	179	
議員	33	
NPO、法人	58	
一般	134	
合計	472	

種別	人数	備考
全体会	296	※うち205名は、分科会にも参加
交流会	94	
分科会	380	※うち205名は、全体会にも参加
分科会1（相談・救済）	50	※うちコーディネーター3、報告者4
分科会2（虐待防止）	59	※うちコーディネーター3、報告者6
分科会3（居場所）	100	※うちコーディネーター3、報告者4
分科会4（参加）	49	※うちコーディネーター3、報告者9
分科会5（計画）	34	※うちコーディネーター3、報告者4
分科会6（条例）	21	※うちコーディネーター3、報告者5
分科会7 （子ども支援・子育て支援と連携・協働）	67	※うちコーディネーター3、報告者5
ラウンドテーブル	54	※うちコーディネーター1

「子どもの相談・救済に関する関係者会議」 参加者人数

開催日	参加人数	交流会
10月9日	62	47

歓迎セレモニー 参加人数

種別	大人	子ども	付き添い大人	担当職員	計
けん玉	-	17	6	-	23
しゃきしゃき体操	10	15	3	1	29
計	10	32	9	1	52

※けん玉：田無学童クラブ、芝久保学童クラブ児童

しゃきしゃき体操：田無小学校5年生、西東京しゃきしゃき体操推進リーダー

学生による展示コーナー

開催日	学生	関係者	計
10月10日	11	3	14
10月11日	3	2	5
計	14	5	19

若者たちの防災会議@田無児童館

開催日	子ども	学生	関係者	担当職員	一般参加	計
10月11日（午後）	11	11	4	4	4	34

※子ども参加内訳：石巻市2名、松本市2名、西東京市7名

3 実行委員会の開催状況

開催日	議 題
H27. 4. 4	・シンポジウム日程、場所の確定 ・全体方針、主な企画の検討
H27. 5. 9	・全体方針、主な企画の検討
H27. 6. 20	・全体方針、主な企画の検討
H27. 7. 11	・全体方針、企画について
H27. 8. 30	・企画内容の検討、運営確認について (コーディネーター会議も兼ねる)
H27. 8. 30 スタッフ会議	・シンポジウム運営について
H27. 12. 12	・開催結果について ・収支決算について